



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋

上場取引所 東

コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部門長 (氏名) 山中 真二

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,007	1.5	478	21.2	518	35.4	344	118.0
2019年3月期第2四半期	19,720	0.6	394	5.2	383	21.5	157	25.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 350百万円 (217.1%) 2019年3月期第2四半期 110百万円 (58.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	15.25	
2019年3月期第2四半期	7.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	36,403	15,682	41.4	667.74
2019年3月期	35,481	15,700	42.3	664.34

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 15,073百万円 2019年3月期 14,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		12.00	12.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,198	0.4	979	34.6	830	11.3	481	45.6	21.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	22,610,359 株	2019年3月期	22,610,359 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	36,124 株	2019年3月期	36,124 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	22,574,235 株	2019年3月期2Q	22,575,517 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や堅調な設備投資等を背景に景気は緩やかな回復基調ではあるものの、世界の貿易摩擦激化など海外の政治経済情勢の不確実性の高まりの影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業を取り巻く環境は、人手不足を背景とした人件費の上昇や原材料費の上昇に加え、業種・業態の垣根を越えた顧客獲得に向けた企業間競争の激化など、引き続き厳しい経営環境に直面しています。

このような環境下で当社グループは、「食」とは文字通り「人を良くする」ものであるという価値観を共有し体現していくことで、世界の人々のより良いライフクオリティと豊かな人生の実現に貢献していくため、「ホールディングス機能の強化によるグループ収益力の強化」「投資案件への積極的な取り組み」「グローバル展開」「人材育成と職場環境の改善」を重点戦略として推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高200億7百万円（前年同期比2億87百万円増）、営業利益4億78百万円（前年同期は営業利益3億94百万円）、経常利益5億18百万円（前年同期は経常利益3億83百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億44百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億57百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(レストラン事業)

レストラン事業においては、既存店の好調を柱に、改装、店舗委託制度を推進致しました。その結果、新規出店は(株)老番亭本部の「らーめん桜亭」1店舗であり、改装は10店舗実施し、このうち3店舗は業態変更を行いました。退店は14店舗であり、うちフランチャイズ店舗への移行を6店舗行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、39都道府県に428店舗（フランチャイズ店舗65店舗を含む）となりました。店舗数減に伴う売上高の減少により減収となりましたが、人手不足による人件費上昇の影響はあるもののコストコントロールの効果により増益となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は140億66百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益5億78百万円（前年同期は5億44百万円の利益）となりました。

(機内食事業)

(株)エイエエスケータリングにおいては、関西国際空港における中国便及び中東便等でのインバウンドの搭乗客が引き続き増加したことで好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は32億66百万円（前年同期比26.4%増）、セグメント利益1億80百万円（前年同期は25百万円の利益）となりました。

(業務用冷凍食品製造事業)

(株)アサヒウェルネスフーズにおいては、貝塚市に移転した新工場の稼働開始に伴う一時的なコストの発生や冷凍弁当の受注減により減収減益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は7億42百万円（前年同期比12.5%減）、セグメント損失78百万円（前年同期は20百万円の損失）となりました。

(不動産賃貸事業)

大阪木津市場(株)においては、地方卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みではあるものの、新たに建設した食品加工工場の賃貸開始等により増収増益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は3億50百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益1億55百万円（前年同期は1億30百万円の利益）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道(株)においては、観光客誘致や沿線地域でのイベントの開催等の取り組みを続けていることにより増収となりました。またコストコントロールの効果により増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は2億33百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益10百万円（前年同期は9百万円の利益）となりました。

(その他)

大阪木津市場(株)で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量はほぼ前年同期並みに推移し増収減益となりました。日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は販売数量が減少したことにより減収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は13億47百万円（前年同期比5.1%減）、セグメント損失22百万円（前年同期は23百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は99億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億77百万円増加いたしました。これは主に商品及び製品6億31百万円の増加によるものであります。固定資産は264億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億44百万円増加いたしました。これは主に連結子会社である㈱アサヒウェルネスフーズの新工場稼働による増加を含む有形固定資産4億96百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、364億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億22百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は80億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億13百万円増加いたしました。これは主に短期借入金5億70百万円及び1年内返済予定の長期借入金1億89百万円の増加によるものであります。固定負債は126億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億26百万円増加いたしました。これは主に長期借入金4億67百万円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、207億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億40百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は156億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少いたしました。これは主に非支配株主持分94百万円の減少、配当金の支払い2億70百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益3億44百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は41.4%（前連結会計年度末は42.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月13日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,047,149	5,610,513
預け金	846,875	718,624
売掛金	1,503,298	1,614,030
商品及び製品	455,302	1,086,682
原材料及び貯蔵品	281,991	363,454
短期貸付金	728	482
その他	373,207	592,224
貸倒引当金	△2,657	△2,140
流動資産合計	9,505,894	9,983,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,656,032	27,466,137
減価償却累計額	△19,241,618	△19,397,653
建物及び構築物(純額)	6,414,413	8,068,484
機械装置及び運搬具	2,363,105	2,822,497
減価償却累計額	△1,840,643	△1,904,181
機械装置及び運搬具(純額)	522,461	918,315
工具、器具及び備品	1,884,031	2,031,275
減価償却累計額	△1,347,478	△1,373,016
工具、器具及び備品(純額)	536,553	658,258
土地	8,353,917	8,356,356
建設仮勘定	2,017,049	339,240
有形固定資産合計	17,844,397	18,340,655
無形固定資産		
のれん	244,072	225,770
その他	57,521	88,965
無形固定資産合計	301,594	314,735
投資その他の資産		
投資有価証券	1,917,136	1,895,450
長期貸付金	61,554	70,739
差入保証金	5,699,637	5,587,804
繰延税金資産	69,401	71,161
その他	100,533	157,881
貸倒引当金	△18,706	△18,705
投資その他の資産合計	7,829,555	7,764,331
固定資産合計	25,975,547	26,419,723
資産合計	35,481,442	36,403,595

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,146,339	1,219,353
短期借入金	330,000	900,000
1年内償還予定の社債	430,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	2,426,136	2,615,723
リース債務	31,839	33,849
未払金	460,515	307,872
未払費用	1,831,764	1,717,700
未払法人税等	135,516	151,197
未払消費税等	134,236	162,240
賞与引当金	134,442	188,968
資産除去債務	26,503	18,348
その他	249,096	305,013
流動負債合計	7,336,390	8,050,268
固定負債		
社債	730,000	515,000
長期借入金	8,079,232	8,546,279
リース債務	37,864	19,813
長期未払金	128,725	132,762
繰延税金負債	1,393,223	1,393,223
資産除去債務	1,130,038	1,123,477
転貸損失引当金	12,750	11,250
退職給付に係る負債	132,907	134,033
その他	799,913	795,184
固定負債合計	12,444,657	12,671,023
負債合計	19,781,047	20,721,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,837,695	6,850,585
利益剰余金	2,029,624	2,103,103
自己株式	△35,361	△35,361
株主資本合計	14,670,196	14,756,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356,133	368,023
為替換算調整勘定	△23,689	△47,370
退職給付に係る調整累計額	△5,676	△3,490
その他の包括利益累計額合計	326,767	317,163
非支配株主持分	703,430	608,574
純資産合計	15,700,394	15,682,302
負債純資産合計	35,481,442	36,403,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	19,720,372	20,007,783
売上原価	11,791,363	12,022,847
売上総利益	7,929,008	7,984,935
販売費及び一般管理費	7,534,060	7,506,248
営業利益	394,947	478,687
営業外収益		
受取利息	2,479	2,187
受取配当金	16,127	24,005
賃貸料収入	37,444	31,671
その他	38,197	46,303
営業外収益合計	94,249	104,168
営業外費用		
支払利息	34,223	38,730
借入手数料	34,015	1,800
賃貸費用	20,925	20,385
その他	16,721	3,095
営業外費用合計	105,885	64,011
経常利益	383,311	518,844
特別利益		
固定資産売却益	300	6
投資有価証券売却益	—	22,473
受取補償金	1,916	12,500
受取保険金	—	13,207
特別利益合計	2,216	48,187
特別損失		
固定資産除却損	23,328	33,118
減損損失	103,851	42,846
退店違約金	1,000	—
その他	6,380	—
特別損失合計	134,560	75,964
税金等調整前四半期純利益	250,967	491,067
法人税等	84,343	119,066
四半期純利益	166,623	372,001
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,667	27,631
親会社株主に帰属する四半期純利益	157,956	344,369

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	166,623	372,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,629	11,890
為替換算調整勘定	△27,546	△35,879
退職給付に係る調整額	5,040	2,379
その他の包括利益合計	△56,135	△21,609
四半期包括利益	110,488	350,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,770	334,769
非支配株主に係る四半期包括利益	△282	15,621

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	250,967	491,067
減価償却費	432,268	537,789
減損損失	103,851	42,846
のれん償却額	8,548	18,302
長期前払費用償却額	13,613	19,300
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,172	54,525
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△332	△518
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,500	△1,500
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,136	3,505
受取利息及び受取配当金	△18,607	△26,192
支払利息	34,223	38,730
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△22,473
固定資産除却損	23,328	33,118
固定資産売却損益 (△は益)	△300	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	247,913	17,485
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△759,087	△712,842
仕入債務の増減額 (△は減少)	△220,697	73,013
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△123,499	△175,212
その他	△14,843	△192,720
小計	△2,116	198,218
利息及び配当金の受取額	18,608	26,192
利息の支払額	△34,603	△40,096
法人税等の支払額	△95,529	△64,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	△113,641	120,158
投資活動によるキャッシュ・フロー		
補助金の受取額	34,830	38,580
有形固定資産の取得による支出	△1,595,864	△1,170,362
無形固定資産の取得による支出	△25,370	△40,841
長期前払費用の取得による支出	△6,326	△74,655
店舗撤去に伴う支出	△42,933	△51,351
有形固定資産の売却による収入	300	7
投資有価証券の取得による支出	△336,127	△7,334
投資有価証券の売却による収入	—	26,170
貸付けによる支出	△95,500	△10,450
貸付金の回収による収入	4,454	1,510
差入保証金の差入による支出	△70,105	△27,294
差入保証金の回収による収入	143,856	139,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,988,787	△1,176,620

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	740,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△260,000	△30,000
長期借入れによる収入	3,699,550	2,047,810
長期借入金の返済による支出	△1,386,210	△1,391,175
社債の償還による支出	△215,000	△215,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,700	△95,318
非支配株主からの払込みによる収入	261,145	—
配当金の支払額	△337,525	△277,736
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△15,758	△16,040
自己株式の取得による支出	△2,392	—
その他	△2,274	△2,274
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,478,834	620,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,029	△437
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	348,376	△436,635
現金及び現金同等物の期首残高	6,945,213	6,047,149
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,293,589	5,610,513

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	14,306,410	2,583,969	849,353	327,668	232,645	18,300,045	1,420,326	19,720,372	—	19,720,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,686	77,900	—	28,964	120,552	597,036	717,589	△717,589	—
計	14,306,410	2,597,656	927,253	327,668	261,609	18,420,598	2,017,363	20,437,961	△717,589	19,720,372
セグメント利益又は 損失(△)	544,245	25,239	△20,992	130,730	9,297	688,520	23,906	712,426	△317,479	394,947

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△317,479千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間において、店舗資産の減損損失を103,851千円計上しております。なお、減損損失は特別損失のため、セグメント利益には含まれておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	14,066,464	3,266,972	742,879	350,166	233,669	18,660,151	1,347,631	20,007,783	—	20,007,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,063	9,649	5,264	—	43,011	90,988	583,813	674,802	△674,802	—
計	14,099,527	3,276,621	748,143	350,166	276,681	18,751,140	1,931,445	20,682,585	△674,802	20,007,783
セグメント利益又は 損失(△)	578,654	180,491	△78,825	155,117	10,826	846,264	△22,665	823,599	△344,911	478,687

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△344,911千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。